

青い森しんきん

とねんど 情報

No.486

2023

8月

青い森しんきん
経済レポート

特別調査 P2

「アフターコロナと中小企業」

景況レポート P3

2023年4月～6月期の現況と
2023年7月～9月期の予想

主要経済指標 P12

青森県、八戸市、青森市、
弘前市、十和田市、むつ市

青森県立保健大学 研究室のご紹介 P20

「地域と学校、親子で取り組む生活習慣病予防」
(地域保健研究室)

「地域のリハビリテーションに重点をあてる」
(リハビリテーションマネジメント研究室)

深浦町 白神山地

地元の 名産・商品 製品・技術 紹介コーナー P21、22

八戸地区、青森地区、十和田地区、弘前津軽地区、下北地区



金融リサーチ

内外金利・為替見通し (2023年8月2日)

足元の金利・為替環境

FRBは利上げ再開、ECBは利上げ継続。マーケットは次回9月会合の利上げ有無に注目

7月はFRBが利上げ再開、ECBが利上げ継続と両者の足並みがそろった。こうした中、マーケットの関心は「次回9月会合での利上げの有無」へと向かっている。会合後の記者会見では、パウエルFRB議長とラガルドECB総裁ともに、「データを踏まえて依存し会合ごとに判断する」趣旨の説明を行っている。今後発表される経済指標の結果や、8月下旬に予定されているジャクソンホール会議での発言には要注意である。他方、日銀はイールドカーブ・コントロール(YCC)の運用柔軟化に踏み切った。会合後、10年国債利回りは上昇し0.5%を上回る水準で推移している。

ドル円レートは乱高下。YCC運用柔軟化の発表後は円安・ドル高で推移

7月前半は、米物価指標の下振れと日銀のYCC修正観測を背景に6円以上も円高・ドル安が進んだ。ただ、その後はYCC修正見送り観測などから再び円安・ドル高へと大きく振れている。7月28日にYCCの運用柔軟化の報道が出た直後は、日米金利差の縮小観測が高まったことなどを受けて急激に円高が進んだものの、日銀が緩和的な金融政策を継続するとの見方が次第に優勢となり、円売り・ドル買いが再び加速している。

1年先までの金利・為替見通し

FRBとECBの利上げサイクル終了が間近に迫る。24年入り後から緩やかな利下げに転じる見込み

9月会合を最後にFRBとECBの利上げサイクルは終了すると見込んでいる。もっとも、米国、ユーロ圏ともにインフレ率の低下が鮮明になっていることや、金融引締めによる累積的な効果を見極める必要性などから、9月の利上げが見送られる可能性もある。その後、政策金利はしばらく高い水準で維持されるものの、23年末頃から米欧経済が減速感を強めていく中で、FRBとECBは24年入り後から緩やかな利下げ(3か月に1回のペース)に転じるとみている。FRBの利下げ転換と、日銀のYCC運用柔軟化による日本の長期金利上昇によって、日米金利差の縮小観測は今後強まるとみており、円高・ドル安傾向で推移すると考えている。

◇予測一覧表 (8月2日現在)

		2023年7月31日	8-9月	10-12月	2024年1-3月	4-6月
米国	FFレート (誘導目標・期末)	5.25-5.50	5.50-5.75	5.50-5.75	5.25-5.50	5.00-5.25
	国債 (5年)	4.178	3.80-4.50	3.80-4.50	3.70-4.40	3.60-4.30
	国債 (10年)	3.962	3.60-4.30	3.60-4.30	3.50-4.20	3.40-4.10
	NYダウ平均 (ドル)	35559.53	34000-3800	34500-38500	35000-39000	35500-39500
ユーロ圏	市場介入金利 (期末)	4.25	4.50	4.50	4.25	4.00
	国債 (ドイツ10年債)	2.489	2.10-2.80	2.10-2.80	2.00-2.70	1.90-2.60
	DAX指数	4471.31	4200-4700	4250-4750	4300-4800	4350-4850
日本	無担保コール翌日物	△ 0.061	△0.10-0.00	△0.10-0.00	△0.10-0.00	△0.10-0.00
	TIBOR (3カ月)	△ 0.003	△0.10-0.10	△0.10-0.10	△0.10-0.10	△0.10-0.10
	中期国債 (新発5年債)	0.170	0.00-0.40	0.00-0.40	0.00-0.40	0.00-0.40
	長期国債 (新発10年債)	0.595	0.30-0.80	0.30-0.80	0.30-0.80	0.30-0.80
	超長期国債 (新発20年債)	1.235	0.90-1.50	0.90-1.50	0.90-1.50	0.90-1.50
	日経平均株価 (円)	33172.22	31000-35000	31500-35500	32000-36000	32500-36500
為替	円/ドルレート	142.18	135-146	134-145	132-143	130-141
	円/ユーロレート	156.70	150-161	149-160	147-158	145-156

トピックス topics

マネックス証券 × 青い森信用金庫

『金融教育』

青い森信用金庫では、これまでも小学生などを対象とした『金融教育』を実施して参りましたが、2022年4月の「成人年齢」引き下げに伴い、高校生や大学生の皆さんにも家計管理や金融取引に関する正しい知識を身に付けていただくべく、「金融教育」と実施しております。

2023年6月23日(金)、青い森信用金庫はマネックス証券株式会社と連携し、八戸工業大学感性デザイン学科の1年生の皆さんを対象に「金融教育」の特別授業を実施いたしました。

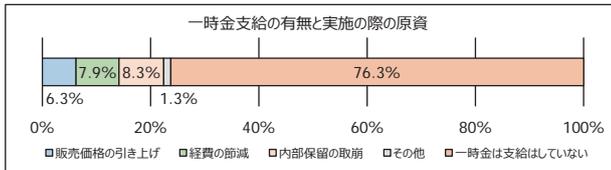
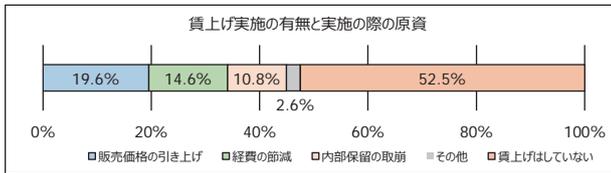
ライフプランとお金、ローンの仕組み、クレジットカードの仕組みなどをテーマに講義し、質疑応答も行いました。



「アフターコロナと中小企業」

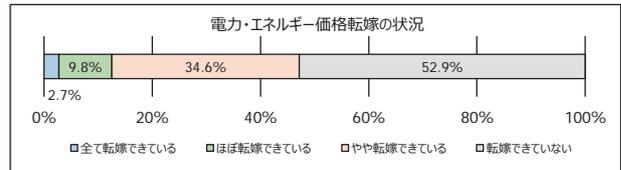
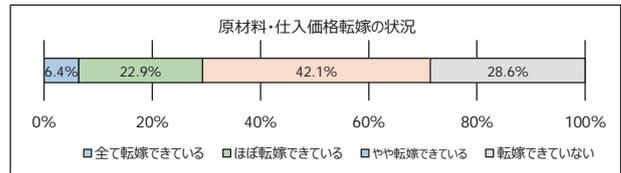
調査時点 2023年6月
(対象946社・回収888社 回答率93.9%)

1 賃上げ・一時金支給の有無と原資



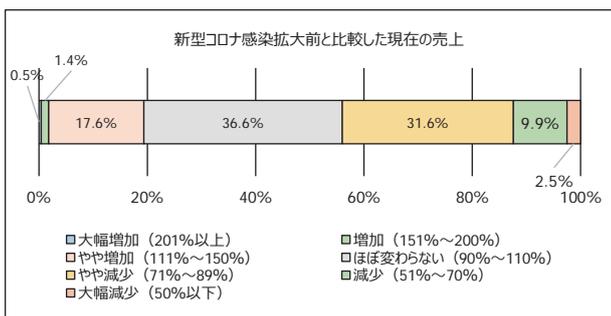
- 賃上げを実施した企業は全体の47.6%で、その原資は「販売価格の引き上げ」が最も多く19.6%。賃上げを実施しなかった企業は52.5%。
- 一時金を支給した企業は全体の23.8%で、その原資は「経費の節減」が最も多く、7.9%。一時金支給を行わなかった企業は76.3%。

2 原材料・仕入価格と電力・エネルギー価格転嫁の状況



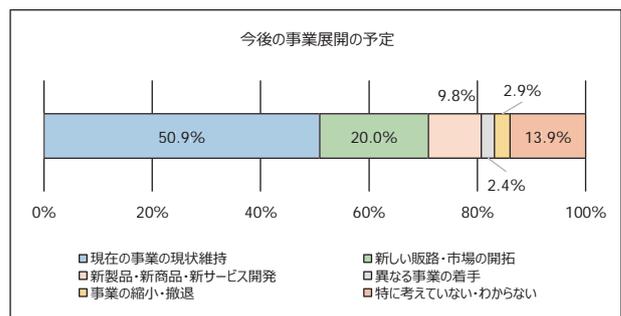
- 原材料・仕入れ価格を転嫁できている企業は全体の71.4%。「すべて転嫁できている」のは6.4%。転嫁できていない企業は全体の28.6%。
- 電力・エネルギー価格を転嫁できている企業は全体の47.1%。そのうち「すべて転嫁できている」のは2.7%。転嫁できていない企業は全体の52.9%。

3 新型コロナウイルス感染拡大前と比較した現在の売上



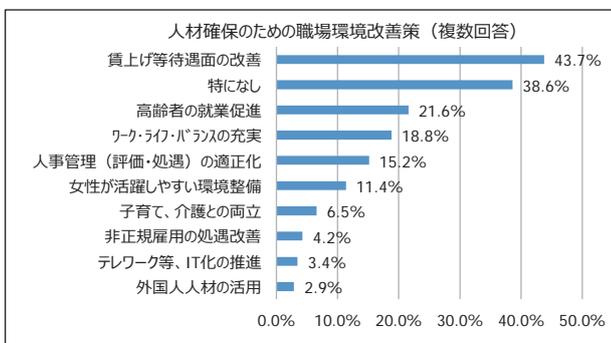
- 新型コロナウイルス感染拡大前と比較して、現在の売り上げが増加したとする企業は19.5%だった。
- 逆に、減少したとする企業は全体の44.0%だった。

4 今後の事業展開の予定



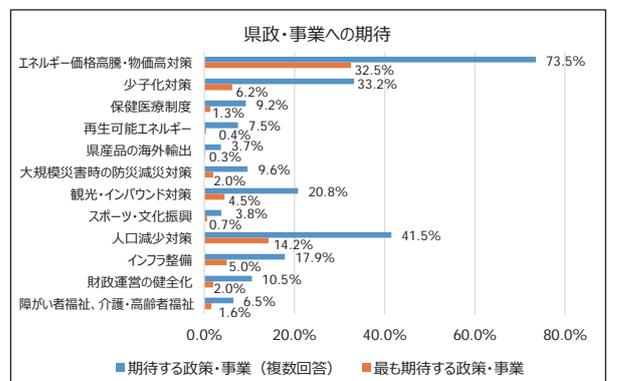
- 今後の事業展開として最も多かったのは「現在の事業の現状維持」50.9%と半数超。次いで、「新しい販路・市場の開拓」(20.0%)、「新製品・新商品・新サービス開発」(9.8%)など。
- 「特に考えていない・わからない」は13.9%。

5 人材確保のための職場環境改善策



- 人材確保のための職場環境改善策として最も多かったのは「賃上げ等待遇面の改善」で43.7%だった。
- 次いで、「高齢者の就業促進」(21.6%)、「ワーク・ライフ・バランスの充実(長時間労働は正等)」(18.8%)、「人事管理(評価・処遇)の適正化」(15.2%)、「女性が活躍しやすい環境整備」(11.4%)などとなっている。
- 「特になし」は38.6%だった。

6 県政・事業への期待



- 今後県政や県の事業として期待するものとして最も多かったのは、「エネルギー価格高騰・物価高対策」で73.5%だった。次いで「人口減少対策」(41.5%)、「少子化対策」(33.2%)、「観光・インバウンド対策」(20.8%)、「インフラ整備」(17.9%)などとなっている。
- 県政における政策・事業として「最も期待するもの」として挙げられたのは、「エネルギー価格高騰・物価高対策」で32.5%で、その他、「人口減少対策」14.2%、「少子化対策」6.2%、「インフラ整備」5.0%、「観光・インバウンド対策」4.5%となり、期待する政策・事業とほぼ同じ傾向だった。

No.192 ■2023年 4～6月期 現況 ■2023年 7～9月期 予想

売上高DIは全体で9.0ポイントアップし▲6.0 5業種・5地区で改善 来期は悪化の見通し

<今期>

2023年4～6月期の県内中小企業の景況動向調査（調査回答企業888社）の結果、売上高DI（増加企業割合－減少企業割合）は、前期調査（2023年1～3月期）から9.0ポイントアップの▲6.0となり2期ぶりに改善した。業種別では、不動産業を除く製造業、卸売業、小売業、建設業、サービス業の5業種で改善。売上高DIが高い順に、卸売業11.4（前期比23.9ポイントアップ）、サービス業6.8（同19.5ポイントアップ）、小売業▲8.3（同5.4ポイントアップ）、建設業▲11.6（同4.3ポイントアップ）、製造業▲14.4（同1.5ポイントアップ）だった。不動産業は前期比8.8ポイントダウンの▲41.2だった。卸売業、サービス業の上げ幅が大きかった。地区別では八戸、青森、上十三、津軽、下北の全5地区で改善した。売上高DIが高い順に、八戸地区0.0（前期比7.9ポイントアップ）、青森地区▲4.0（同13.9ポイントアップ）、津軽地区▲10.5（同7.7ポイントアップ）、上十三地区▲10.6（同8.3ポイントアップ）、下北地区▲13.3（同6.3ポイントアップ）だった。青森地区で上げ幅が大きかった。

設備投資実施割合：全体で前期比1.7ポイントダウンの21.9%で、実施企業数は、有効回答企業773社中169社だった。業種別では、卸売業が最も実施割合が高く28.4%で前期比3.4ポイントアップだった。次いで建設業25.2%（前期比7.6ポイントダウン）、サービス業23.3%（同0.7ポイントダウン）、製造業20.9%（同0.7ポイントアップ）となった。

地区別でみると八戸地区の実施割合が最も高く30.6%だったが前期から0.7ポイントダウンだった。次いで、青森地区が25.3%（前期比2.8ポイントダウン）、津軽地区16.5%（同0.7ポイントアップ）、上十三地区14.4%（同4.7ポイントダウン）だった。下北地区は11.2%と最も実施率が低く、前期比0.9ポイントダウンだった。

経営上の問題点（複数回答）：経営上の問題点（複数回答）として挙げられているのは、前期同様「売上停滞減少」が最も多く、全体の41.8%（前期44.7%）だった。次いで「原材料価格上昇」が35.2%（同33.2%）、「人手不足」が34.8%（同34.0%）、「利幅縮小」21.5%（同23.7%）、「同業者との競争激化」が16.6%（同17.3%）の順となっている。「問題なし」とする企業は、全体の3.1%（同2.2%）だった。「売上停滞減少」は、小売業が49.3%（前期50.6%）、卸売業が48.1%（同51.3%）だった。「原材料価格上昇」は、建設業が65.6%（同59.8%）と最も割合が高く、製造業も57.3%（同63.2%）で経営上の課題として第一位となっている。「人手不足」は、建設業が53.6%（前期51.3%）だった。

<来期>

来期（2023年7～9月期）の売上高DIの予想は、今期より3.2ポイントダウンの▲9.2と、今期より悪化を予想する。業種別に見ると、4.9ポイントアップし▲6.7の建設業と8.8ポイントアップし▲32.4の不動産業において改善を予想しているが、その他の4業種で悪化が予想されている。卸売業が6.3ポイントダウンの5.1、サービス業が5.8ポイントダウンの1.0と悪化を予想するがプラスを維持。製造業が2.4ポイントダウンの▲16.8、小売業が10.1ポイントダウンの▲18.4を予想している。地区別でみると、9.8ポイントアップの▲0.7を予想する津軽地区を除き、4地区で悪化を予想。八戸地区が9.7ポイントダウンの▲9.7、青森地区が5.8ポイントダウンの▲9.8、上十三地区が1.3ポイントダウンの▲11.9、下北地区が2.0ポイントダウンの▲15.3が予想されている。

2023年4～6月期は、新型コロナウイルスの感染症法上の5類移行による人流の増加を背景とした関連産業の業績が上向き傾向になったこと等を背景として、売上高DIも改善したとみられる。他方、物価高やエネルギー価格の高止まりは続き、景気回復は依然不透明さが残るとみられる。

来期の設備投資予定割合は、全体では765社中162社で実施を予定しており、今期比0.7ポイントダウンの21.2%となっている。製造業を除く、卸売業・小売業・建設業・サービス業の4業種で減少を予定。卸売業において3.0ポイントダウンの25.4%の実施を予定。次いで、建設業が25.1%（今期比0.1ポイントダウン）、製造業が21.7%（同0.8ポイントアップ）、サービス業が21.4%（同1.9ポイントダウン）を予定している。小売業は14.8%（同0.2ポイントダウン）を予定。

（前年同期比売上高DIの動向）

業種別

	全業種	製造業	卸売業	小売業	建設業	サービス業	不動産業
1～3月実績	▲15.0	▲15.9	▲12.5	▲13.7	▲15.9	▲12.7	▲32.4
	-9.3 ↓	-18.2 ↓	-18.8 ↓	-0.9 ↓	-16.8 ↓	-3.4 ↓	-0.0 →
4～6月実績	▲6.0	▲14.4	11.4	▲8.3	▲11.6	6.8	▲41.2
	9.0 ↑	1.5 ↑	23.9 ↑	5.4 ↑	4.3 ↑	19.5 ↑	-8.8 ↓
7～9月予想	▲9.2	▲16.8	5.1	▲18.4	▲6.7	1.0	▲32.4
	-3.2 ↓	-2.4 ↓	-6.3 ↓	-10.1 ↓	4.9 ↑	-5.8 ↓	8.8 ↑

地区別

	全体	八戸地区	青森地区	上十三地区	津軽地区	下北地区
1～3月実績	▲15.0	▲7.9	▲17.9	▲18.9	▲18.2	▲19.6
	-9.3 ↓	-10.2 ↓	-19.0 ↓	-3.3 ↓	-13.7 ↓	6.1 ↑
4～6月実績	▲6.0	0.0	▲4.0	▲10.6	▲10.5	▲13.3
	9.0 ↑	7.9 ↑	13.9 ↑	8.3 ↑	7.7 ↑	6.3 ↑
7～9月予想	▲9.2	▲9.7	▲9.8	▲11.9	▲0.7	▲15.3
	-3.2 ↓	-9.7 ↓	-5.8 ↓	-1.3 ↓	9.8 ↑	-2.0 ↓

地区別 (売上前年同期比D I・%)

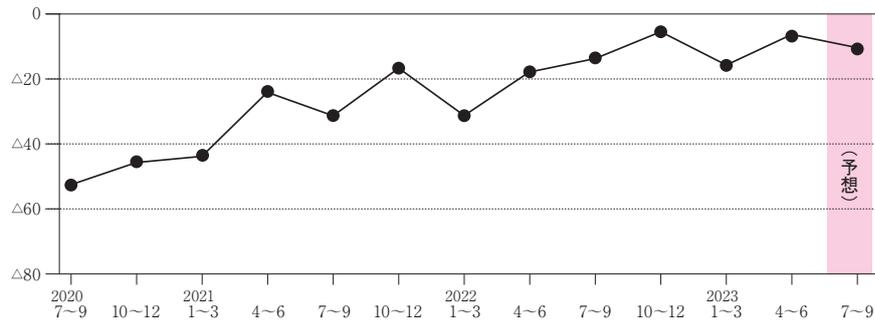
期	全地区	八戸	青森	上十三	津軽	下北
2020 7~9	△52.3	△52.7	△44.9	△58.5	△50.0	△57.4
10~12	△45.0	△41.0	△43.6	△54.1	△44.4	△45.9
2021 1~3	△42.7	△42.2	△39.0	△55.2	△33.9	△45.1
4~6	△23.0	△12.2	△26.1	△33.5	△25.6	△27.5
7~9	△31.5	△32.2	△25.7	△43.5	△25.1	△31.1
10~12	△17.6	△10.2	△20.6	△34.3	△20.1	△4.2
2022 1~3	△31.4	△25.7	△32.2	△46.4	△32.5	△21.9
4~6	△18.6	△14.1	△14.6	△31.3	△19.7	△17.3
7~9	△13.9	△12.6	△11.9	△21.3	△16.6	△6.9
10~12	△5.7	2.3	1.1	△15.6	△4.5	△25.7
2023 1~3	△15.0	△7.9	△17.9	△18.9	△18.2	△19.6
4~6	△6.0	0.0	△4.0	△10.6	△10.5	△13.3
7~9	(△9.2)	(△9.7)	(△9.8)	(△11.9)	(△0.7)	(△15.3)

D I = (増加企業割合 - 減少企業割合) % () は予想数値

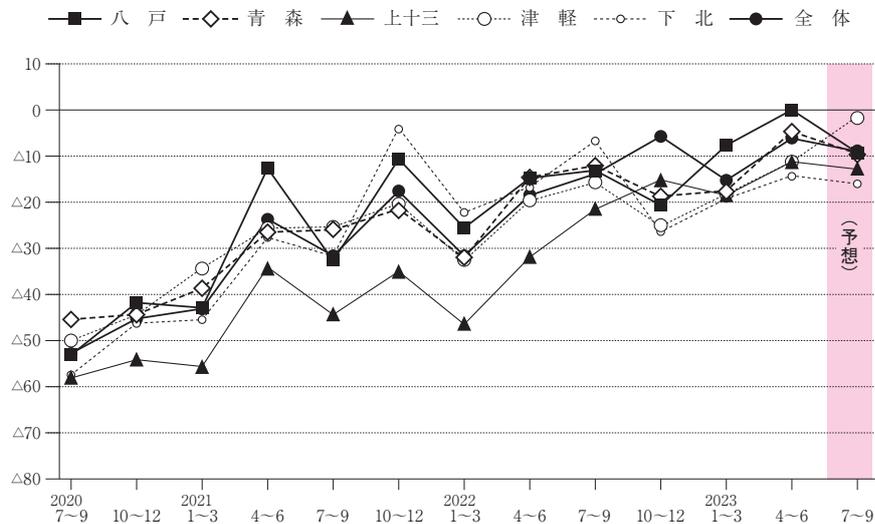
調査要綱

調査時点 2023年6月1日～6月30日
 調査方法 調査担当者による聞き取り調査・アンケート調査
 調査時期 2023年4月～6月期の現況と2023年7月～9月期の見通し
 調査対象企業 青森県内中小企業 946社
 回答企業 888社 (回答率93.9%)
 内訳 製造業 126社 卸売業 79社
 小売業 219社 建設業 225社
 サービス業 205社 不動産業 34社

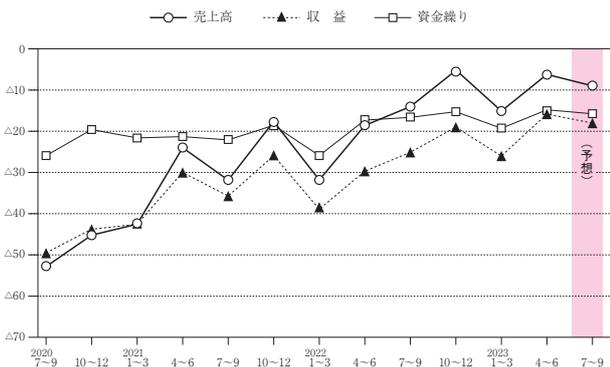
売上D Iの推移 (全体)



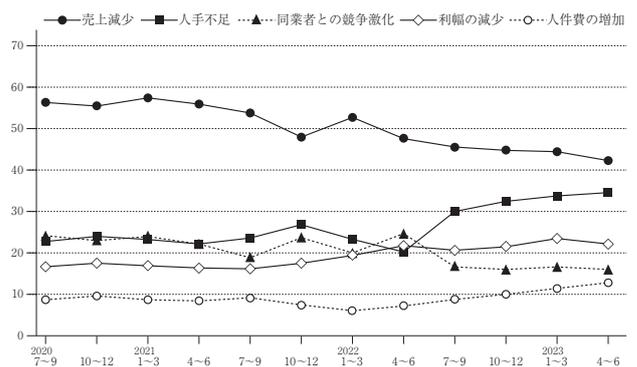
売上D Iの推移 (地区別)



売上高・収益・資金繰りD Iの推移



経営上の問題点に占める割合



製造業



経営上の問題点 (％)

順位	2022年			2023年	
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
1位	原材料高 70.9	原材料高 58.9	原材料高 65.9	原材料高 63.2	原材料高 57.3
2位	売上減 48.0	売上減 48.8	売上減 47.3	売上減 49.6	売上減 44.4
3位	人手不足 24.4	人手不足 23.3	人手不足 26.4	人手不足 32.0	人手不足 26.6
4位	仕入先からの値上り要請 22.8	仕入先からの値上り要請 22.5	利幅の縮小 23.3	利幅の縮小 22.4	利幅の縮小 21.0
5位	利幅の縮小 18.9	人件費以外の経費増加 17.1	人件費以外の経費増加 17.1	仕入先からの値上り要請 17.6	仕入先からの値上り要請 21.0

(数字は有効回答数に占める割合)

製造業 前期減少から増加 来期は減少を予想

製造業の今期の売上高DIは、前期比1.5ポイントアップの▲14.4と、前期の減少から増加に転じた。津軽地区は37.9ポイントダウンの▲43.8、下北地区も30.5ポイントダウンの▲43.8だったが、八戸地区は16.7ポイントアップの1.7とプラスとなり、上十三地区は12.4ポイントアップの▲11.1、青森地区は5.9ポイントアップの▲17.6だった。

来期は全体で2.4ポイントダウンの▲16.8を予想している。上十三地区が11.1ポイントアップと2期連続して増加し0.0となる予想。津軽地区も37.5ポイントアップの▲6.3を予想。今期プラスだった八戸地区は17.2ポイントダウンの▲15.5、下北地区は27.0ポイントアップの▲16.8。青森地区は17.7ポイントダウンの▲35.3を予想。

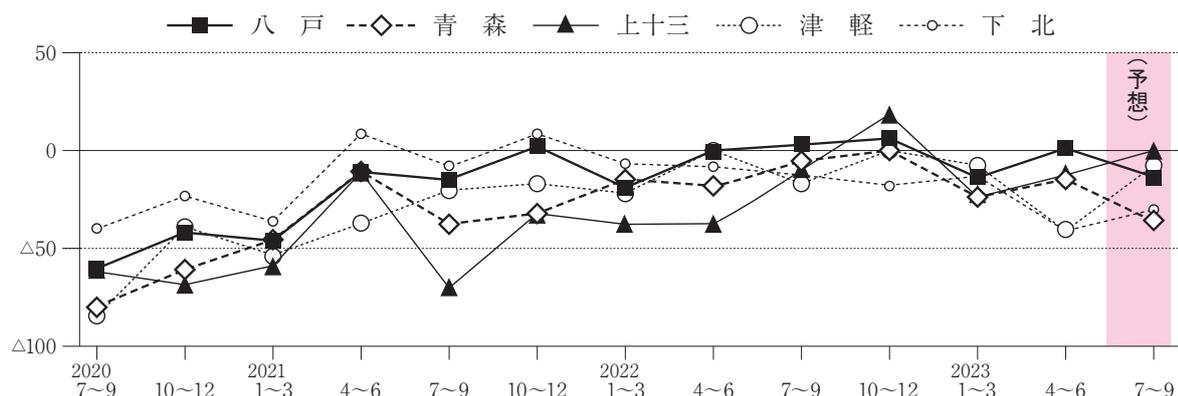
	全体	八戸地区	青森地区	上十三地区	津軽地区	下北地区
2023年1～3月期実績	▲15.9	▲15.0	▲23.5	▲23.5	▲5.9	▲13.3
前期比	-18.2 ↓	-20.1 ↓	-23.5 ↓	-40.2 ↓	-5.9 ↓	4.3 ↑
2023年4～6月期実績	▲14.4	1.7	▲17.6	▲11.1	▲43.8	▲43.8
前期比	1.5 ↑	16.7 ↑	5.9 ↑	12.4 ↑	-37.9 ↓	-30.5 ↓
2023年7～9月期予想	▲16.8	▲15.5	▲35.3	0.0	▲6.3	▲16.8
今期比	-2.4 ↓	-17.2 ↓	-17.7 ↓	11.1 ↑	37.5 ↑	27.0 ↑

- <八戸地区> 前期減少から増加 来期は減少を予想
- <青森地区> 前期減少から増加 来期は減少を予想
- <上十三地区> 前期減少から増加 来期も増加を予想
- <津軽地区> 2期続けて減少 来期は増加を予想
- <下北地区> 前期増加から減少 来期は増加を予想

- ・売上DI増加 建具 窯業・土石 菓子・麺 電気機械器具 水産加工
- ・売上高横ばい 包装・資材品
- ・売上DI減少 その他食品 その他製造業 鉄工(製缶) 印刷 製材・製函

- 【お客様の声】
- ・今年度に入り、製品価格を値上げしたが、売上数量は変わらず堅調。コロナ終息に伴い、外食・お土産関係が伸びている。(食品製造)
 - ・官公庁入札受注増。観光周知関係印刷物増。(印刷)
 - ・コロナ禍が収まっても周囲の動きが通常に戻るには時間がかかる。(製材・製函)
 - ・半導体不足による失注と客先の納期に間に合わず(売上減)。(電気機械器具)
 - ・原材料・コスト単価上昇に伴う製品値上げの影響により販売数量落込み。新規原料による製品販売の商談に時間を要し、その間売上が停滞。(水産加工)

製造業売上DIの推移(地区別)



卸売業



経営上の問題点 (%)

順位	2022年			2023年	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
1位	売上減 53.8	売上減 49.4	売上減 46.8	売上減 51.3	売上減 48.1
2位	仕入先からの値上り要請 33.8	仕入先からの値上り要請 39.5	仕入先からの値上り要請 39.2	仕入先からの値上り要請 35.0	仕入先からの値上り要請 39.2
3位	利幅の縮小 26.3	利幅の縮小 23.5	同業者との競争激化 26.6	同業者との競争激化 30.0	人手不足 24.1
4位	同業者との競争激化 21.3	同業者との競争激化 23.5	人手不足 22.8	利幅の縮小 27.5	取引先減少 21.5
5位	取引先減少 17.5	人手不足 22.2	利幅の縮小 22.8	人件費以外の経費増加 26.3	利幅の縮小 21.5

(数字は有効回答数に占める割合)

卸売業 前期減少から増加 来期は減少を予想

卸売業の売上高DIは前期、減少に転じ18.8ポイントダウンの▲12.5だったが、今期は23.9ポイントアップの11.4とプラスに転じた。

八戸地区は36.1ポイントアップで33.3とプラスとなった。津軽地区は2期連続して横ばいで0.0。下北地区は50.0ポイントダウンの0.0だった。青森地区35.8ポイントアップの▲7.1、上十三地区も23.1ポイントアップの▲15.4だった。

来期の売上高DIは全体で6.3ポイントダウンとなるものの5.1とプラス維持を予想。津軽地区は23.1ポイントアップの23.1を予想。八戸地区は16.6ポイントダウンとなるが16.7とプラス維持を予想。下北地区は横ばいで0.0、上十三地区は1.3ポイントダウンの▲16.7、青森地区は14.3ポイントダウンの▲21.4を予想。

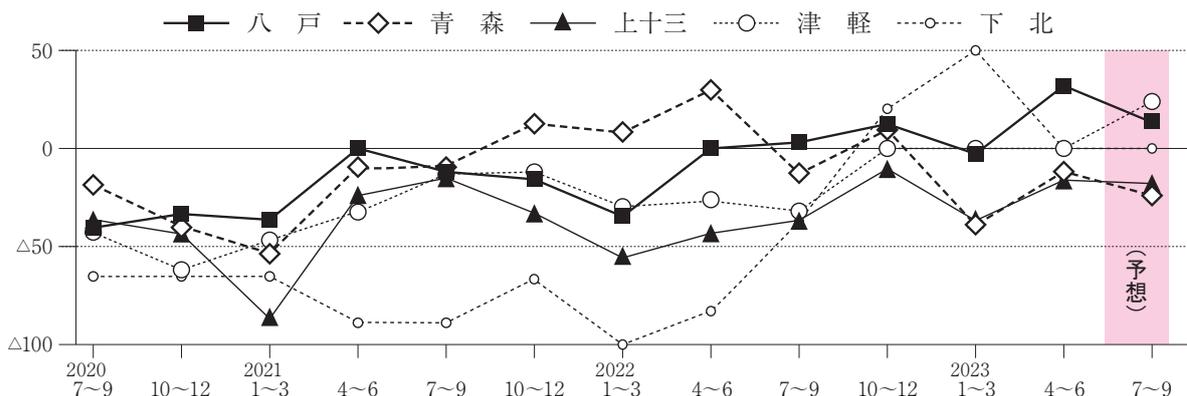
	全体	八戸地区	青森地区	上十三地区	津軽地区	下北地区
2023年1~3月期実績	▲12.5	▲2.8	▲42.9	▲38.5	0.0	50.0
前期比	-18.8 ↓	-13.9 ↓	-50.6 ↓	-30.8 ↓	0.0 →	30.0 ↗
2023年4~6月期実績	11.4	33.3	▲7.1	▲15.4	0.0	0.0
前期比	23.9 ↗	36.1 ↗	35.8 ↗	23.1 ↗	0.0 →	-50.0 ↓
2023年7~9月期予想	5.1	16.7	▲21.4	▲16.7	23.1	0.0
今期比	-6.3 ↓	-16.6 ↓	-14.3 ↓	-1.3 ↓	23.1 ↗	0.0 →

- <八戸地区> 前期減少から増加 来期は減少を予想
- <青森地区> 前期減少から増加 来期は減少を予想
- <上十三地区> 前期減少から増加 来期は減少を予想
- <津軽地区> 2期続けて横ばい 来期は増加を予想
- <下北地区> 前期増加から減少 来期は横ばいを予想

- ・売上DI増加 一般機械器具 その他建築材料 その他卸売業 文具・雑貨 珍味・水産乾物 建材・木材 食料・飲料
- ・売上高横ばい 自動車部品
- ・売上DI減少 燃料・鋼材 農畜産・水産物

- 【お客様の声】
- ・仕入価格の値上り・高騰が続く中で、それに伴って販売商品の価格転嫁は進んでいるが、需要低迷・販売数量減により相殺され、売上は微増に留まる。(建材・木材)
 - ・コロナ禍が5類に移行されたことで人流が増えたため(売上増)。(珍味・水産乾物)
 - ・肥料高騰による助成金制度があり通常月より速い前倒し購入者が多かったため、売上増加になったと思われる。(農業資材)
 - ・骨材の価格が4月1日から上がった。1年間で2回目となっている。(建材・木材)
 - ・全国的な豊作傾向により、相場の下落と生活費の増加による節約志向。(農畜産・水産物)

卸売業売上DIの推移(地区別)



小売業



経営上の問題点 (％)

順位	2022年			2023年		
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	
1位	売上減 55.1	売上減 55.1	売上減 56.6	売上減 50.6	売上減 49.3	
2位	商圏人口の減少 25.5	仕入先からの値上り要請 30.0	仕入先からの値上り要請 26.4	仕入先からの値上り要請 27.9	仕入先からの値上り要請 24.7	
3位	仕入先からの値上り要請 25.5	商圏人口の減少 25.1	商圏人口の減少 21.9	人出不足 22.3	商圏人口の減少 24.2	
4位	利幅の縮小 22.7	利幅の縮小 23.5	人出不足 20.7	利幅の縮小 21.5	利幅の縮小 22.8	
5位	同業者との競争激化 18.2	人出不足 19.0	利幅の縮小 20.2	商圏人口の減少 21.0	人出不足 22.3	

(数字は有効回答数に占める割合)

小売業 前期減少から増加 来期は減少を予想

小売業の売上高DIは、前期0.9ポイントダウンの▲13.7と減少に転じたが、今期は5.4ポイントアップの▲8.3となった。八戸地区は5.8ポイントアップの10.3と3期連続してプラスを維持した。青森地区は、1.4ポイントアップと5期連続増加し▲10.0、上十三地区は2.3ポイントアップの▲18.9、津軽地区は9.5ポイントダウンして同じく▲18.9だった。また、下北地区は16.7ポイントアップしたが▲24.3だった。

来期の売上高予想DIは、10.1ポイントダウンの▲18.4を予想。八戸地区は22.1ポイントダウンし▲11.8とマイナスに転じる予想。津軽地区は5.1ポイントアップして▲13.8、青森地区は10.0ポイントダウンの▲20.0、上十三地区は1.9ポイントダウンの▲20.8を予想。下北地区も5.4ポイントダウンの▲29.7を予想している。

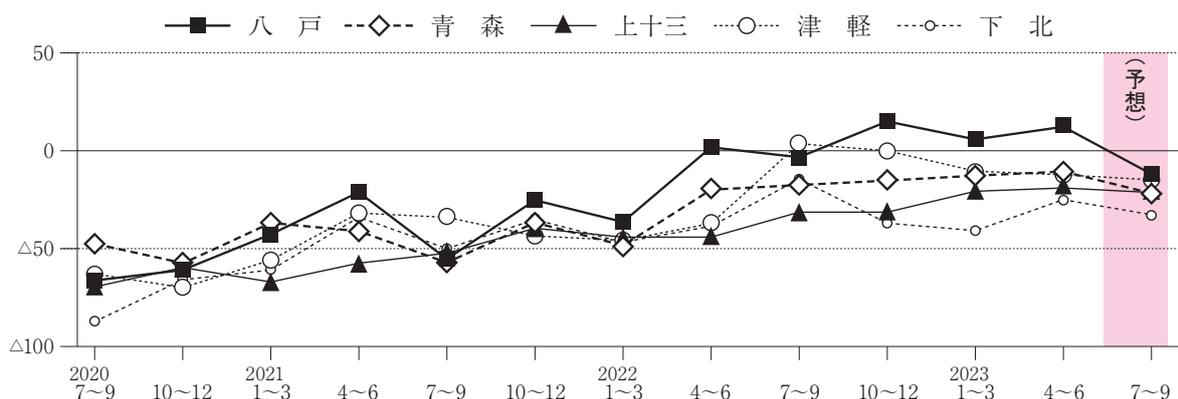
	全体	八戸地区	青森地区	上十三地区	津軽地区	下北地区
2023年1～3月期実績	▲13.7	4.5	▲11.4	▲21.2	▲9.4	▲41.0
前期比	-0.9 ↓	-8.7 ↓	6.0 ↑	7.9 ↑	-9.4 ↓	-3.8 ↓
2023年4～6月期実績	▲8.3	10.3	▲10.0	▲18.9	▲18.9	▲24.3
前期比	5.4 ↑	5.8 ↑	1.4 ↑	2.3 ↑	-9.5 ↓	16.7 ↑
2023年7～9月期予想	▲18.4	▲11.8	▲20.0	▲20.8	▲13.8	▲29.7
今期比	-10.1 ↓	-22.1 ↓	-10.0 ↓	-1.9 ↓	5.1 ↑	-5.4 ↓

- <八戸地区> 前期減少から増加 来期は減少を予想
- <青森地区> 5期連続して増加 来期は減少を予想
- <上十三地区> 5期連続して増加 来期は減少を予想
- <津軽地区> 3期連続して減少 来期は増加を予想
- <下北地区> 前期減少から増加 来期は減少を予想

- ・売上DI増加 カメラ・メガネ・時計・宝石 飲食業 酒類 家具・家庭用品 靴・はき物 その他小売 その他食品
- ・売上高横ばい 呉服・寝具
- ・売上DI減少 自動車・他 CD・レコード・書籍・文具 総合食品 燃料 精肉・食肉 薬・化粧品 総合衣料 家電

- 【お客様の声】
- ・外に出る機会増加しコロナ5類移行に伴い衣料品に対する購買マインド高まる。(総合衣料)
 - ・コロナ5類感染移行後海外からの観光客も少しずつ来店しており、売上は増加しているものの、材料等の仕入価格が上がったことで利益率は下がった。(その他食品小売)
 - ・新車の長納期が未だに解消されず、直近では物価高、エネルギー価格高騰により受注も前年割れしている。(自動車)
 - ・燃料高騰や食料品値上げ、旅行などの外出が増えたことにより、買い控えがおきている。(家電)
 - ・小売店へ出向いて対面販売で婦人服を購入したいと思うお客さんが年々減少している。(総合衣料)

小売業売上DIの推移 (地区別)



建設業



経営上の問題点

(%)

順位	2022年			2023年	
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
1位	材料価格の上昇 70.1	材料価格の上昇 66.1	材料価格の上昇 63.1	材料価格の上昇 59.8	材料価格の上昇 65.6
2位	人手不足 42.4	人手不足 46.0	人手不足 52.9	人手不足 51.3	人手不足 53.6
3位	売上減 33.9	売上減 28.6	売上減 28.0	売上減 31.7	売上減 32.6
4位	利幅の縮小 23.2	利幅の縮小 23.2	利幅の縮小 22.7	利幅の縮小 29.5	利幅の縮小 21.9
5位	同業者との競争激化 19.2	同業者との競争激化 18.3	同業者との競争激化 19.6	同業者との競争激化 19.6	同業者との競争激化 21.0

(数字は有効回答数に占める割合)

建設業 前期減少から増加 来期も増加の見通し

建設業の今期の売上高DIは、減少に転じた前期から4.3ポイントアップの▲11.6となった。上十三地区は、32.3ポイントアップの9.5とプラスに転じた。また、青森地区も3.1ポイントアップの0.0となった。下北地区は30.5ポイントダウンの▲11.8と前期からマイナスに転じた。津軽地区は8.5ポイントアップして▲19.2、八戸地区は1.4ポイントアップして▲23.2となった。

建設業における来期の売上高予想DIは、4.9ポイントアップの▲6.7と2期連続して増加を予想。上十三地区は9.5と横ばい。青森地区も0.0と横ばいを予想。津軽地区は9.6ポイントアップして▲9.6を予想。下北地区は横ばいで▲11.8。八戸地区は8.7ポイントアップして▲14.5を予想。

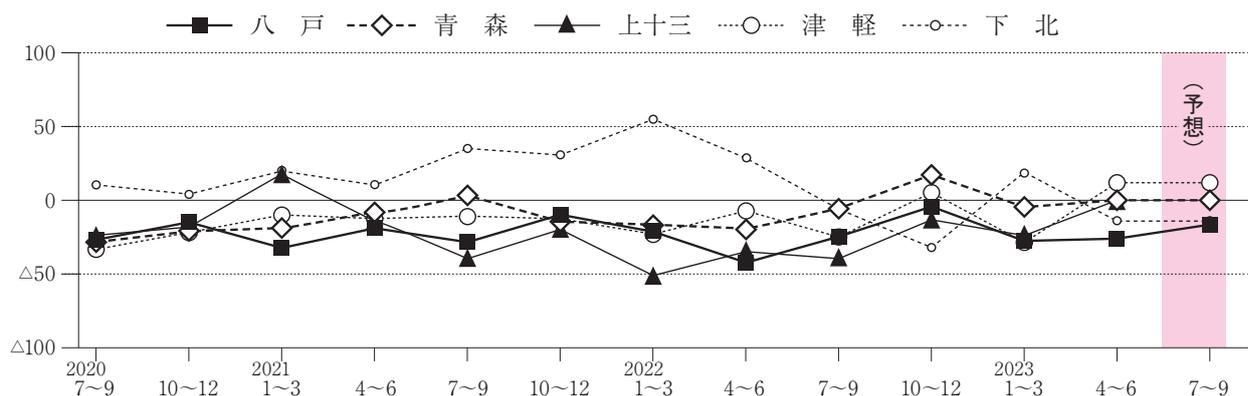
	全体	八戸地区	青森地区	上十三地区	津軽地区	下北地区
2023年1～3月期実績	▲15.9	▲24.6	▲3.1	▲22.7	▲27.8	18.8
前期比	-16.8 ↘	-21.7 ↘	-18.7 ↘	-13.2 ↘	-31.6 ↘	50.4 ↗
2023年4～6月期実績	▲11.6	▲23.2	0.0	9.5	▲19.2	▲11.8
前期比	4.3 ↗	1.4 ↗	3.1 ↗	32.3 ↗	8.5 ↗	-30.5 ↘
2023年7～9月期予想	▲6.7	▲14.5	0.0	9.5	▲9.6	▲11.8
今期比	4.9 ↗	8.7 ↗	0.0 →	0.0 →	9.6 ↗	0.0 →

- <八戸地区> 前期減少から増加 来期も増加を予想
- <青森地区> 前期減少から増加 来期は横ばい予想
- <上十三地区> 前期減少から増加 来期は横ばい予想
- <津軽地区> 前期減少から増加 来期も増加を予想
- <下北地区> 前期増加から減少 来期は横ばいを予想

- ・売上DI増加 塗装工事 その他造園 内装工事 電気工事 管工事 土木工事 その他設備
- ・売上高横ばい 鉄骨工事 左官工事
- ・売上DI減少 板金工事 建築工事 総合建設業

- 【お客様の声】
- ・コロナ対策のための受注が増えてきたから（換気設備の改良、非接触型手洗い設置等）（管工事）
 - ・昨年夏の大雨による災害工事の発注が増えている。（土木工事）
 - ・材料確保が難しく、商品提供に影響し売上減少。（建築工事）
 - ・公共工事の受注減少により、契約高が減少したことによる。（塗装工事）

建設業売上DIの推移（地区別）



サービス業



経営上の問題点 (％)

順位	2022年			2023年		
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	
1位	売上減 52.9	売上減 49.3	売上減 44.6	売上減 46.1	材料価格の上昇 44.8	
2位	同業者との競争激化 49.0	材料価格の上昇 36.3	材料価格の上昇 37.7	材料価格の上昇 42.6	人手不足 40.9	
3位	材料価格の上昇 37.0	人手不足 35.3	人手不足 36.3	人手不足 37.3	売上減 36.5	
4位	人件費以外の経費増加 18.8	利幅の縮小 16.9	利幅の縮小 16.2	人件費以外の経費増加 17.6	利幅の縮小 18.7	
5位	利幅の縮小 16.8	人件費以外の経費増加 16.4	人件費以外の経費増加 14.7	人件費増加 17.2	人件費増加 16.3	

(数字は有効回答数に占める割合)

サービス業 前期減少から増加 来期は減少を予想

サービス業の売上高DIは前期の減少から、19.5ポイントアップの6.8と増加に転じ、プラスとなった。下北地区は47.3ポイントアップの23.8とプラスに転じ、津軽地区も39.4ポイントアップし10.5とプラスに転じた。また、八戸地区も3.6ポイントアップの8.9とプラスを維持。さらに、青森地区も37.5ポイントアップの7.3とプラスに転じている。他方、上十三地区は4.1ポイントダウンの▲6.1だった。

来期のサービス業における売上高予想DIは5.8ポイントダウンするものの、1.0とプラスを維持すると予想。下北地区は9.5ポイントダウンするが14.3とプラスを維持。津軽地区は10.5と横ばいとなり、青森地区は4.9ポイントダウンだが2.4とプラスを維持すると予測されている。八戸地区は、12.5ポイントダウンとなり▲3.6とマイナスに転じ、上十三地区も2.1ポイントダウンの▲8.2を予想。

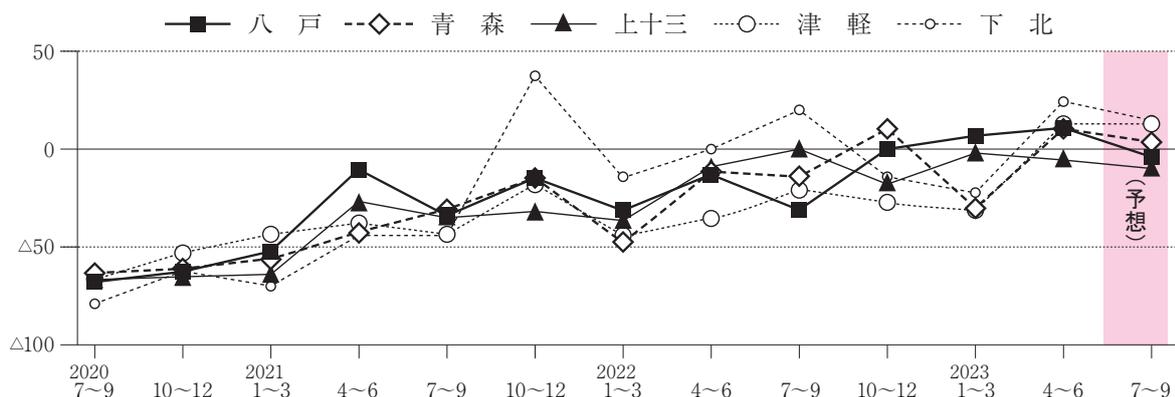
	全体	八戸地区	青森地区	上十三地区	津軽地区	下北地区
2023年1～3月期実績	▲12.7	5.3	▲30.2	▲2.0	▲28.9	▲23.5
前期比	-3.4 ↓	5.3 ↑	-37.9 ↓	17.1 ↑	-2.6 ↓	-10.5 ↓
2023年4～6月期実績	6.8	8.9	7.3	▲6.1	10.5	23.8
前期比	19.5 ↑	3.6 ↑	37.5 ↑	-4.1 ↓	39.4 ↑	47.3 ↑
2023年7～9月期予想	1.0	▲3.6	2.4	▲8.2	10.5	14.3
今期比	-5.8 ↓	-12.5 ↓	-4.9 ↓	-2.1 ↓	0.0 →	-9.5 ↓

- <八戸地区> 3期連続して増加 来期は減少を予想
- <青森地区> 前期減少から増加 来期は減少を予想
- <上十三地区> 前期増加から減少 来期も減少を予想
- <津軽地区> 前期減少から増加 来期は横ばいを予想
- <下北地区> 前期減少から増加 来期は減少を予想

- ・売上DI増加 ホテル 船舶内燃機関 冠婚葬祭 自動車整備 広告 理美容 クリーニング 運送業 リース その他サービス業 タクシー
- ・売上高横ばい 情報サービス
- ・売上DI減少 測量 旅行

- 【お客様の声】**
- ・新型コロナが5類感染症に位置付けられ、お客様の購買意欲が高くなった。(運送業)
 - ・食事会等とイベントが増えている為、オシャレ着を着用する機会が増えた。(クリーニング)
 - ・法人先の年間契約の増加、イベント・行事等の開催。(ホテル)
 - ・新車取扱いが減少したため(半導体不足の影響)。(自動車整備)
 - ・燃料等上昇も価格に転嫁できていないことから、厳しい業況続く見込み。(運送業)

サービス業売上DIの推移 (地区別)



不動産業



順位	2022年			2023年	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
1位	売上減 52.8	売上減 55.6	売上減 62.2	商品物件の不足 51.4	売上減 61.8
2位	商品物件の不足 47.2	商品物件の不足 47.2	商品物件の不足 56.8	売上減 48.6	商品物件の不足 44.1
3位	利幅の縮小 36.1	同業者との競争激化 41.7	利幅の縮小 27.0	利幅の縮小 40.5	商品物件価格高騰 29.4
4位	同業者との競争激化 27.8	商品物件価格高騰 19.4	同業者との競争激化 18.9	同業者との競争激化 21.6	利幅の縮小 29.4
5位	商品物件価格高騰 16.7	人出不足・利幅の縮小 16.7	商品物件価格高騰 13.5	商品物件価格高騰 18.9	同業者との競争激化 26.5

(数字は有効回答数に占める割合)

不動産業 前期横ばいから減少 来期は増加を予想

不動産業の売上高DIは、前期の横ばいから8.8%ダウンの▲41.2と減少となった。下北地区は33.3%アップの0.0、津軽地区は前期から20.0%ダウンの0.0、上十三地区は33.4%アップの▲33.3、青森地区は7.1%アップの▲50.0、八戸地区は46.1%ダウンの▲69.2だった。

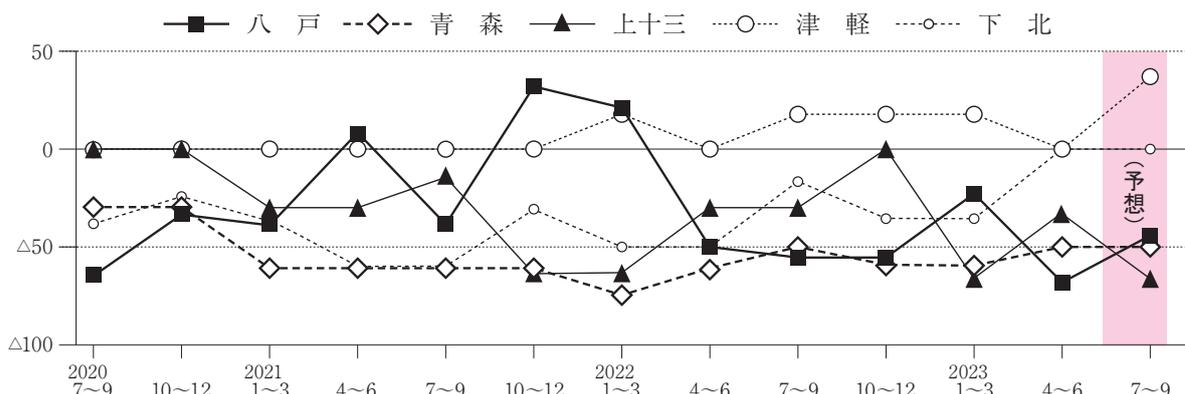
来期の売上高DIは、今期から8.8%アップの▲32.4と増加に転じる予想。津軽地区は40.0%アップの40.0とプラスに転じ、下北地区は横ばいで0.0を予想。八戸地区は23.0%アップの▲46.2、青森地区は横ばいで▲50.0、上十三地区は33.4%マイナスの▲66.7を予想。

	全体	八戸地区	青森地区	上十三地区	津軽地区	下北地区
2023年1~3月期実績	▲32.4	▲23.1	▲57.1	▲66.7	20.0	▲33.3
前期比	0.0 →	30.7 ↗	0.0 →	-66.7 ↘	0.0 →	0.0 →
2023年4~6月期実績	▲41.2	▲69.2	▲50.0	▲33.3	0.0	0.0
前期比	-8.8 ↘	-46.1 ↘	7.1 ↗	33.4 ↗	-20.0 ↘	33.3 ↗
2023年7~9月期予想	▲32.4	▲46.2	▲50.0	▲66.7	40.0	0.0
今期比	8.8 ↗	23.0 ↗	0.0 →	-33.4 ↘	40.0 ↗	0.0 →

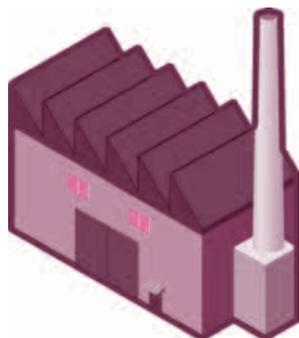
- <八戸地区> 前期増加から減少 来期は増加を予想
- <青森地区> 前期横ばいから増加 来期は横ばいを予想
- <上十三地区> 前期減少から増加 来期は減少を予想
- <津軽地区> 前期横ばいから減少 来期は増加を予想
- <下北地区> 前期横ばいから増加 来期は横ばいを予想

- 【お客様の声】
- ・土地売買が増えたから（売上増）。
 - ・大型店閉店による影響と電気代や協力会社の値上げの為。
 - ・人口減少と物価高。
 - ・（周辺地域の企業に関連した）作業員の減少による空室の増加。

不動産業売上DIの推移（地区別）



設備投資動向



業種別設備投資内容 2023年4～6月期実績 (単位:%)

	全 体	製造業	卸売業	小売業	建設業	サービス業
事業用土地	2.3 ↗ (1.8) ↘	0.0 → (0.0) →	1.4 ↘ (0.0) ↘	2.6 ↗ (1.1) ↘	5.4 ↗ (4.4) ↘	0.5 ↘ (1.6) ↗
事業用建物	2.3 ↘ (2.0) ↘	1.7 ↗ (0.9) ↘	5.4 ↗ (4.2) ↘	2.6 ↗ (1.6) ↘	2.5 ↗ (2.0) ↘	1.1 ↘ (2.1) ↗
機械の 新增設	5.8 ↘ (5.4) ↘	7.8 ↘ (6.1) ↘	6.8 ↗ (4.2) ↘	6.2 ↘ (6.9) ↗	6.4 ↘ (6.4) →	3.2 ↘ (2.7) ↘
機械の 更 改	5.4 ↘ (6.3) ↗	8.7 ↘ (10.4) ↗	9.5 ↘ (7.0) ↘	3.6 ↘ (4.2) ↗	5.4 ↗ (5.4) →	3.7 ↘ (6.4) ↗
事 務 機 器	4.9 ↘ (4.2) ↘	1.7 ↘ (2.6) ↗	10.8 ↗ (8.5) ↘	4.1 ↗ (3.7) ↘	5.4 ↗ (3.4) ↘	4.8 ↗ (4.8) →
車両・ 運搬具	10.2 ↘ (9.9) ↘	5.2 ↘ (3.5) ↘	10.8 ↘ (15.5) ↗	5.7 ↘ (5.8) ↗	12.9 ↘ (13.3) ↗	14.8 ↘ (12.3) ↘
その他	1.3 ↘ (1.0) ↘	1.7 ↘ (2.6) ↗	4.1 ↗ (1.4) ↘	0.5 ↘ (1.1) ↗	0.5 ↘ (0.5) →	1.6 ↗ (0.5) →
計	21.9 ↘ (21.2) ↘	20.9 ↗ (21.7) ↗	28.4 ↘ (25.4) ↘	15.0 ↘ (14.8) ↘	25.2 ↘ (25.1) ↘	23.3 ↘ (21.4) ↘

数字は設備投資の実施割合 ()は2023年7～9月期の見直し

2023年4～6月期の設備投資の現況

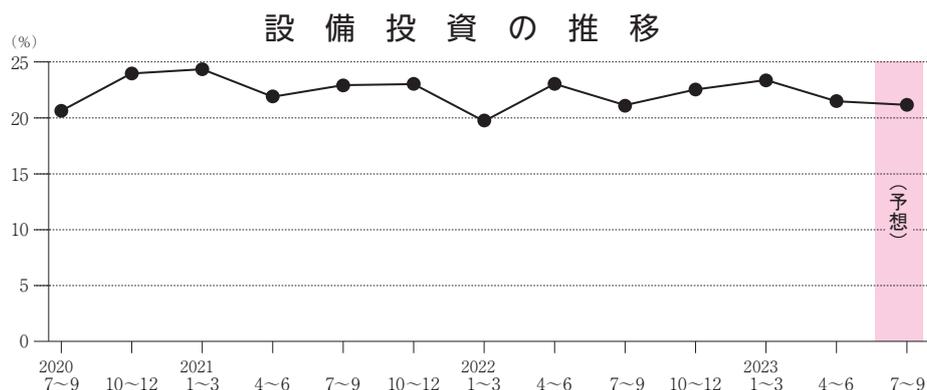
設備投資実施企業の割合は前期の23.6%から1.7%**引**の21.9%

- 全体**
設備投資実施割合は、全体で前期比1.7%**引**の21.9%で、実施企業数は、有効回答企業773社中169社だった。
- 業種別**
業種別では、卸売業が最も実施割合が高く28.4%で前期比3.4%**引**となった。次いで建設業25.2%（前期比7.6%**引**）、サービス業23.3%（同0.7%**引**）、製造業20.9%（同0.7%**引**）となった。小売業は、業種別で最も低い15.0%で前期比0.8%**引**だった。
- 地区別**
地区別でみると八戸地区の実施割合が最も高く30.6%だったが前期から0.7%**引**だった。次いで、青森地区が25.3%（前期比2.8%**引**）、津軽地区16.5%（同0.7%**引**）、上十三地区14.4%（同4.7%**引**）だった。下北地区は11.2%と最も実施率が低く、前期比0.9%**引**だった。
- 設備投資内容**
設備投資の内容を見ると、「車両・運搬具」が最も実施割合が高く、10.2%、次いで「機械の新增設」が5.8%、「機械の更改」が5.4%、「事務機器」4.9%、「事業用建物」と「事業用土地」がそれぞれ2.3%となっている。

2023年7～9月期の設備投資の予定

来期の設備投資実施割合は今期の21.9%から0.7%**引**の21.2%を予定

- 全体**
来期の設備投資予定割合は、全体では765社中162社で実施を予定しており、今期比0.7%**引**の21.2%となっている。
- 業種別**
製造業を除く、卸売業・小売業・建設業・サービス業の4業種で減少を予定。卸売業において3.0%**引**の25.4%の実施を予定。次いで、建設業が25.1%（今期比0.1%**引**）、製造業が21.7%（同0.8%**引**）、サービス業が21.4%（同1.9%**引**）を予定している。小売業は14.8%（同0.2%**引**）が予定。
- 地区別**
地区別では、上十三地区・津軽地区・下北地区の3地区で減少を予定。八戸地区は1.3%**引**の31.9%、青森地区は1.3%**引**の26.6%を予定。上十三地区13.2%（今期比1.2%**引**）、津軽地区12.3%（同4.2%**引**）、下北地区7.9%（同3.4%**引**）を予定。
- 設備投資内容**
設備投資の内容を見ると、「車両・運搬具」の実施予定の割合が最も高く、9.9%、次いで「機械の更改」が6.3%、「機械の新・増設」が5.4%、「事務機器」4.2%、「事業用建物」が2.0%、「事業用土地」が1.8%となっている。



主要経済指標

Key Economic Indicator

青森県主要経済指標

	人 口	県内金融機関預貸金(億円)		手形交換高		企業倒産		県鉱工業生産指数(2015年=100)				県公共 事業予算 (億円)
		実質預金	貸出金	枚 (千枚)	金 額 (億円)	件 数 (件)	負債額 (百万円)	鉱工業 総合	鉄鋼業	業務用 機械工業	食料品 工業	
2022年 4 月	1,233,652	59,442	31,836	16	158	2	72	105.5	71.8	75.1	101.4	936
5 月	1,233,015	58,821	31,872	22	216	2	40	98.8	64.3	77.5	103.7	936
6 月	1,232,137	59,058	31,795	19	166	5	554	95.8	76.9	82.8	110.6	936
7 月	1,231,217	58,879	31,827	17	132	5	1,268	97.6	67.7	72.7	107.3	937
8 月	1,230,399	58,693	31,822	21	210	1	10	93.3	66.7	67.1	102.0	937
9 月	1,229,378	58,506	32,119	18	177	1	98	92.8	64.5	73.3	102.1	937
10 月	1,228,296	58,877	32,394	18	161	8	602	98.0	61.2	77.9	99.1	996
11 月	1,227,033	58,754	32,364	2	14	3	206	94.9	60.9	74.9	102.1	996
12 月	1,226,497	59,143	32,368	2022年11月4日 手形交換所廃止		6	723	95.6	59.7	78.3	100.0	1,216
2023年 1 月	1,223,499	58,434	32,215			2	130	93.0	57.1	78.4	109.8	1,216
2 月	1,221,698	58,242	32,194			4	571	100.0	48.0	78.1	104.1	1,216
3 月	1,215,085	58,994	32,521			4	959	88.7	54.2	74.3	103.8	1,213
4 月	1,215,100	59,652	32,124			8	620	98.6	53.6	73.0	97.2	915
5 月	1,214,010	59,188	32,172			3	435	99.2	48.6	66.1	99.8	915
6 月	1,212,955	59,374	32,085			10	9,047	-	-	-	-	915
前年同月比(%)	▲ 1.6	0.5	0.9	-	-	100.0	1533.0	-	-	-	-	▲ 2.2
累計前年比(%)	▲ 1.4	1.3	0.6	-	-	44.7	188.8	-	-	-	-	▲ 4.9

- 鉱工業生産指数の前年同月比は原指数、月間数値は季節調整済。
- 実質預金は総預金から小切手手形を除く(信託勘定を含まず)、貸出金は金融期間貸付金を含まず。
- 企業倒産は東京商工リサーチ青森・八戸両支店調(負債総額1千万円以上) ● 人口は住民基本台帳による。

	建築物 着工 床面積 (千㎡)	住宅着工 戸数 (戸)	有効求人 倍率 (倍)	新車登録台数(台)		水揚(属地)		り ん ご				
				乗 用 車	軽自動車	数 量 (トン)	金 額 (百万円)	産地価格 (円/kg)	消費地 市場価格 (円/kg)	出 荷 (トン)	国産りんご輸出	
											数量(トン)	金額(百万円)
2022年 4 月	105	598	1.15	1,960	1,614	14,787	2,634	338	386	23,698	1,774	815
5 月	116	591	1.15	1,422	1,284	28,361	5,091	-	446	16,491	732	357
6 月	113	542	1.16	1,532	1,797	24,932	5,890	-	462	11,935	498	246
7 月	94	485	1.17	2,088	1,768	27,565	6,637	-	490	8,411	417	214
8 月	80	462	1.18	1,444	1,428	5,723	3,202	-	528	2,800	476	267
9 月	66	441	1.19	1,973	2,009	4,194	2,816	189	284	22,471	1,006	429
10 月	73	454	1.19	1,774	1,834	4,276	2,418	279	330	25,853	6,742	2,876
11 月	75	458	1.20	1,831	2,139	3,694	3,340	230	342	22,585	6,452	3,348
12 月	59	386	1.22	1,352	1,618	4,306	2,855	184	411	27,740	12,869	7,126
2023年 1 月	28	210	1.22	1,916	1,784	4,328	1,770	326	326	29,161	2,496	1,263
2 月	32	179	1.18	2,237	1,893	3,466	1,469	172	302	33,028	2,826	1,199
3 月	58	372	1.19	3,170	2,637	-	-	197	303	33,926	3,614	1,525
4 月	74	506	1.21	2,288	1,640	-	-	299	335	27,889	2,549	1,121
5 月	56	322	1.21	1,724	1,563	-	-	-	427	20,133	1,386	613
6 月	130	481	1.18	2,302	1,675	-	-	-	475	11,418	1,143	545
前年同月比(%)	15.0	▲ 11.3	-	50.3	▲ 6.8	-	-	-	2.8	▲ 4.3	129.5	121.5
累計前年比(%)	▲ 19.1	▲ 13.9	-	15.4	17.1	-	-	-	▲ 2.9	7.9	38.1	45.4

- 有効求人倍率：パートを含む。月間数値は季節調整済。
- りんごの年度は各年9月～翌年8月まで

主要経済指標

Key Economic Indicator

八戸市内主要経済指標

	世帯数	人口	婚姻届		金融機関預貸金		不渡形 (件)	取引止 (件)	企業倒産	
	世帯	人	合計	窓口 受付分	預金 (億円)	貸出金 (億円)			件数 (件)	負債額 (百万円)
2022年 4月	109,940	222,166	133	60	14,209	7,014	0	0	1	12
5月	109,966	222,032	166	62	14,117	6,997	0	0	0	0
6月	110,075	222,015	151	62	14,188	7,001	0	0	1	11
7月	110,081	221,818	148	62	14,193	7,039	0	0	3	609
8月	110,138	224,791	144	62	14,146	7,048	0	0	0	0
9月	110,242	221,712	110	46	14,082	7,093	0	0	0	0
10月	110,261	221,589	156	70	14,129	7,063	0	0	3	114
11月	110,299	221,463	188	81	2022年11月4日手形交換所廃止				0	0
12月	110,195	221,229	149	70					1	10
2023年 1月	110,142	220,969	161	67					1	80
2月	110,070	220,714	101	43					0	0
3月	110,036	219,733	236	84					1	23
4月	110,178	219,448	109	37					1	21
5月	110,233	219,363	171	56					0	0
6月	110,254	219,243	112	53	0	0				
前年同月比(%)	0.2	▲ 1.2	▲ 25.8	▲ 14.5	-	-	-	-	▲ 100.0	▲ 100.0
累計前年比(%)	0.4	▲ 0.9	▲ 7.1	▲ 10.9	-	-	-	-	66.7	18.0

●企業倒産は東京商工リサーチ青森・八戸両支店調（負債総額1千万円以上）

	八戸港水揚高		魚種別水揚数量			魚種別平均単価(10キロ)			大型小売店 売上高 (4店前年比)	食品 スーパー 売上高 (3店前年比)	新車登録台数(台)	
	数量 (トン)	金額 (百万円)	イカ (トン)	サバ (トン)	イワシ (トン)	スルメイカ (円)	ムラサキイカ (円)	サバ (円)			乗用車	軽自動車
2022年 4月	615	166	0	1	0	0	0	290	1.8	3.7	455	216
5月	2,500	325	36	90	0	9,287	0	979	9.6	2.5	269	214
6月	1,931	279	80	65	0	0	9,098	979	4.9	1.2	291	278
7月	9,273	1,323	864	56	7,864	0	9,322	1,036	▲ 0.3	5.1	452	235
8月	2,224	1,771	1,686	433	12	13,101	10,360	1,959	9.5	2.9	257	196
9月	2,913	1,983	1,531	694	177	11,574	13,731	1,220	24.3	4.7	403	306
10月	2,961	1,217	701	111	1,917	12,233	10,975	1,007	5.9	6.3	341	270
11月	2,164	1,502	888	303	245	12,056	9,333	1,277	2.7	11.5	387	299
12月	1,294	419	134	298	416	12,545	9,551	1,351	2.7	7.0	241	247
2023年 1月	780	284	112	30	0	12,786	13,897	1,470	8.7	4.9	404	277
2月	966	313	79	0	4	13,338	10,867	0	14.0	4.4	502	279
3月	878	402	188	0	0	12,624	15,190	0	15.3	6.3	489	384
4月	800	233	23	2	0	11,523	0	775	5.6	6.6	542	242
5月	1,852	442	23	31	9	14,454	0	1,137	▲ 4.5	5.0	377	243
6月	7,078	740	105	67	5,976	14,442	0	1,216	▲ 5.0	4.8	416	238
前年同月比(%)	266.5	165.2	31.3	3.1	↑	↑	▲ 100.0	24.2	-	-	43.0	▲ 14.4
累計前年比(%)	▲ 27.7	22.3	▲ 18.2	▲ 79.4	▲ 13.4	77.3	153.1	34.3	-	-	12.5	10.2

●八戸港水揚高・魚種別水揚数量・魚種別平均単価の累計前年比は年次比較

●魚種別平均単価：スルメイカは船凍スルメイカ、ムラサキイカは釣りムラサキイカ

●食品スーパー売上高：即存店ベース

主要経済指標

Key Economic Indicator

	八戸市中央卸売市場				雇用状況(全数)					八戸市公共 事業予算 (百万円)	公共工事 受注高 (百万円)	地元5社受注高	
	数量 (トン)	金額 (百万円)	数量(トン)		新規求人 (人)	有効求人 (人)	有効求職 (人)	就業者 (人)	有効求人 倍率(倍)			民間新規 (百万円)	官・民残高 (百万円)
			野菜	果物									
2022年 4月	7,116	1,666	6,208	876	2,323	7,148	5,652	590	1.26	2,435	587	72	12,675
5月	6,722	1,660	6,011	672	2,577	7,128	5,552	470	1.28		502	187	12,915
6月	8,367	1,661	7,721	628	2,648	7,056	5,470	485	1.29		948	77	6,606
7月	9,021	1,838	8,229	772	2,294	6,999	5,131	360	1.36	1,754	1,382	846	7,510
8月	8,209	1,800	7,066	1,123	2,577	7,145	5,044	407	1.42		2,043	179	8,337
9月	9,562	1,932	8,519	1,022	2,606	7,097	4,964	427	1.43		1,404	115	8,959
10月	11,943	2,275	10,712	1,206	2,487	7,196	5,039	419	1.43	1,302	813	11	9,548
11月	10,957	1,935	9,391	1,533	2,405	7,040	4,952	425	1.42		539	295	9,915
12月	7,921	1,925	6,275	1,608	2,396	6,785	4,869	388	1.39		114	820	10,477
2023年 1月	5,330	1,410	4,322	981	2,430	6,791	5,087	358	1.33	▲2,069	509	1,040	11,439
2月	6,123	1,662	5,002	1,094	2,622	7,164	5,342	409	1.34		1,350	537	11,348
3月	8,037	1,960	6,853	1,149	3,244	7,878	5,433	540	1.45		2,482	76	10,837
4月	6,094	1,639	5,250	822	2,525	7,768	5,515	545	1.41	4,616	774	479	11,609
5月	6,277	1,487	5,512	734	2,519	7,718	5,460	517	1.41		805	46	11,624
6月	8,570	1,627	7,885	664	2,933	7,443	5,346	452	1.39		1,566	312	5,435
前年同月比(%)	2.4	▲2.0	2.1	5.7	10.8	5.5	▲2.3	▲6.8	-	-	65.2	305.2	▲17.7
累計前年比(%)	▲5.7	▲1.1	▲6.2	▲1.6	1.6	2.5	1.1	▲2.7	-	-	8.1	35.8	▲13.9

- 中央卸売市場実績の累計前年比は年次比較
- 不渡手形および取引停止は法人および事業者
- 公共工事受注高は八戸建設業協会分

	住宅建設				市内鉄工業者(7社)				貿易実績		
	建築確認 (件)	着工戸数 (戸)	持ち家 (戸)	貸家 (戸)	新規受注 (百万円)	鉄骨 (百万円)	製缶 (百万円)	受注残高 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	合計 (百万円)
2022年 4月	71	106	42	40	275	62	198	5,781	5,358	25,486	30,844
5月	79	89	47	30	835	770	47	7,027	5,248	19,747	24,995
6月	84	108	55	28	162	72	66	6,407	3,926	28,435	32,361
7月	95	67	53	0	890	803	69	1,534	5,268	21,356	26,624
8月	64	119	61	42	110	31	63	6,293	5,185	31,506	36,692
9月	74	86	49	24	104	21	63	5,166	2,616	22,309	24,925
10月	81	93	52	12	213	114	81	5,131	7,290	30,471	7,760
11月	70	79	47	14	388	284	85	4,611	5,441	26,316	31,757
12月	47	88	41	27	214	101	96	4,515	6,809	15,244	22,053
2023年 1月	47	57	25	25	224	28	178	1,620	3,724	22,739	26,464
2月	57	56	36	0	75	24	32	4,860	6,714	19,872	26,586
3月	144	78	29	30	596	475	103	4,102	8,434	21,910	30,344
4月	65	102	49	32	720	475	224	4,117	7,203	15,264	22,468
5月	68	64	38	6	160	23	115	4,137	2,081	15,142	17,223
6月	94	97	57	25	202	110	71	3,484	13,435	31,486	44,922
前年同月比(%)	11.9	▲10.2	3.6	▲10.7	24.7	52.8	7.6	▲45.6	242.2	10.7	38.8
累計前年比(%)	0.3	▲10.7	▲13.5	▲7.4	▲35.1	▲49.1	29.0	▲8.7	14.9	5.7	▲1.7

- 建築確認は、工作物や昇降機等は除く
- 貿易実績は八戸税関支署発表による

主要經濟指標

Key Economic Indicator

青森市内主要經濟指標

	世帯数	人口	婚姻届	手形交換高		消費者物価指数 (生鮮食品除く総合) (前年同月比)	新車登録台数(台)		大型小売店 売上高 (2店前年比)
	世帯	人	合計	枚 (千枚)	金額 (億円)		乗用車	軽自動車	
2022年 4月	137,431	273,305	160	5	54	5.2	508	369	7.1
5月	137,539	273,200	179	6	76	2.6	365	270	9.3
6月	137,507	273,000	149	5	52	3.1	369	409	4.5
7月	137,500	272,846	188	5	49	3.2	558	377	4.0
8月	137,433	272,620	179	6	69	3.6	374	269	1.4
9月	137,371	272,323	139	5	56	3.9	503	409	5.2
10月	137,321	272,098	150	5	53	3.6	439	395	13.0
11月	137,224	271,833	203	1	5	3.5	449	435	▲ 0.8
12月	137,074	271,544	171	2022年11月4日 手形交換所廃止		4.2	374	352	0.2
2023年 1月	136,886	271,132	177			3.9	473	357	5.2
2月	136,734	270,734	119			2.8	524	370	22.1
3月	136,490	269,095	250			2.9	837	554	3.8
4月	137,057	269,451	-			2.9	539	325	4.6
5月	137,049	269,237	-			3.0	378	340	2.1
6月	136,970	269,020	-			3.1	702	367	▲ 1.0
前年同月比(%)	▲ 0.4	▲ 1.5	▲ 100.0	-	-	-	90.2	▲ 10.3	-
累計前年比(%)	▲ 0.2	▲ 1.3	▲ 25.5	-	-	-	16.5	13.8	-

●消費者物価指数：生鮮食品を除く総合 2020年基準

	青森市中央卸売市場										
	水産物						青果物				花き
	鮮魚		冷凍品		塩干加工品		野菜		果実		
	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	金額(百万円)
2022年 4月	839	663	246	285	338	417	2,706	601	767	274	61
5月	776	600	230	270	275	366	2,832	644	586	203	65
6月	664	538	219	244	327	439	4,908	775	616	200	53
7月	726	586	223	277	311	473	5,577	878	852	309	47
8月	646	658	284	321	297	415	4,114	662	1,253	386	106
9月	574	595	363	334	293	417	5,931	880	681	209	68
10月	624	781	458	444	307	453	8,091	1,072	812	225	61
11月	710	809	635	987	351	575	4,861	698	803	222	50
12月	867	1,163	510	660	435	691	3,246	631	1,066	327	88
2023年 1月	812	710	352	349	251	341	2,050	477	858	276	46
2月	729	611	429	405	260	352	2,249	532	943	311	52
3月	799	757	470	504	301	402	2,523	575	910	326	80
4月	691	683	563	473	328	459	2,305	548	690	255	52
5月	801	677	284	307	287	400	2,828	592	674	249	55
6月	721	644	176	218	291	426	5,273	747	707	250	52
前年同月比(%)	8.6	19.7	▲ 19.6	▲ 10.7	▲ 11.0	▲ 3.0	7.4	▲ 3.6	14.8	25.0	▲ 1.9
累計前年比(%)	▲ 3.9	15.9	▲ 11.1	▲ 15.1	▲ 8.6	4.5	0.2	5.3	0.0	▲ 0.2	▲ 1.8

●青森市中央卸売市場は年次統計

主要経済指標

Key Economic Indicator

	青森市公共 事業予算 (億円)	住 宅 建 設				不渡手形 (件)	取引停止 (件)	企 業 倒 産	
		建築確認 (件)	着工戸数 (戸)	持ち家 (戸)	貸 家 (戸)			件 数 (件)	負債額 (百万円)
2022年 4 月	50	95	116	85	20	1	0	0	0
5 月		110	78	73	0	0	1	0	0
6 月		133	104	77	13	1	0	1	430
7 月		102	128	73	36	0	0	1	580
8 月		108	95	67	20	0	0	0	0
9 月		96	106	79	18	0	0	0	0
10 月	▲ 10	83	84	58	16	0	0	2	300
11 月		98	92	61	20	0	0	0	0
12 月		50	65	50	2	-	-	1	12
2023年 1 月		60	34	26	4	2022年11月4日 手形交換所廃止		0	0
2 月		65	50	28	4			1	10
3 月		111	74	41	0			2	150
4 月	82	127	73	41	2			70	
5 月	96	76	55	10	1			75	
6 月	101	85	61	10	5			1,881	
前年同月比(%)	-	▲ 24.1	▲ 18.3	▲ 20.8	▲ 23.1	-	-	400.0	337.4
累計前年比(%)	-	▲ 12.8	▲ 9.1	▲ 17.4	11.0	-	-	25.0	31.1

●企業倒産は東京商工リサーチ青森・八戸両支店調べ（負債総額1千万円以上）

	雇 用 状 況 (全数)					青 森 空 港 利 用 状 況 (定期便)			
	新規求人 (人)	有効求人 (人)	有効求職 (人)	就職者 (人)	有効求人 倍率(倍)	国 内 線		国 際 線	
						乗降数(人)	搭乗率(%)	乗降数(人)	搭乗率(%)
2022年 4 月	2,630	6,943	6,301	515	1.10	74,481	60.7	-	-
5 月	2,066	6,538	6,175	416	1.06	75,232	55.8	-	-
6 月	2,438	6,555	6,042	450	1.08	71,574	54.0	-	-
7 月	2,197	6,225	5,569	346	1.12	78,528	58.6	-	-
8 月	2,231	6,385	5,562	334	1.15	102,622	65.7	-	-
9 月	2,774	6,841	5,526	390	1.24	84,152	64.2	-	-
10 月	2,627	7,029	5,509	393	1.28	97,159	70.5	-	-
11 月	2,401	7,238	5,433	412	1.33	92,283	70.3	-	-
12 月	2,284	6,795	5,781	341	1.18	82,286	62.0	-	-
2023年 1 月	2,764	7,068	6,126	281	1.15	64,319	50.1	-	-
2 月	2,600	7,283	6,463	402	1.13	65,986	55.0	-	-
3 月	2,872	7,704	6,190	661	1.24	89,046	65.1	-	-
4 月	2,520	7,201	6,045	443	1.19	90,676	65.3	-	-
5 月	2,282	7,024	6,039	467	1.16	107,053	76.0	-	-
6 月	2,648	7,074	5,894	437	1.20	104,438	77.0	-	-
前年同月比(%)	8.6	7.9	▲ 2.4	▲ 2.9	-	45.9	-	-	-
累計前年比(%)	10.9	13.5	▲ 1.3	▲ 2.6	-	67.0	-	-	-

●青森空港利用状況は年次統計、青森空港管理事務所調べ

主要經濟指標

Key Economic Indicator

弘前市内主要經濟指標

	世帯数	人 口	婚姻届	手形交換高		不渡手形 (件)	取引停止 (件)	企業倒産	
	世 帯	人	合 計	枚 (千枚)	金 額 (億円)			件 数 (件)	負債額 (百万円)
2022年 4 月	80,583	165,192	113	3	17	0	0	0	0
5 月	80,693	165,159	117	4	29	0	0	0	0
6 月	80,663	164,993	93	4	23	0	0	1	42
7 月	80,529	164,871	116	4	16	0	0	0	0
8 月	80,597	164,725	108	4	32	0	0	0	0
9 月	80,653	164,636	77	4	21	0	0	0	0
10 月	80,729	164,588	98	4	25	0	0	0	0
11 月	80,655	164,420	130	0	3	0	0	0	0
12 月	80,632	164,243	89	2022年11月4日手形交換所廃止				2	164
2023年 1 月	80,542	163,983	103					1	50
2 月	80,393	163,680	63					3	561
3 月	80,191	162,666	160					1	786
4 月	80,652	163,033	94					1	13
5 月	80,673	162,901	124					2	360
6 月	80,661	162,780	115					1	6,347
前年同月比(%)	▲ 0.0	▲ 1.3	23.7	-	-	-	-	0.0	15011.9
累計前年比(%)	3.3	▲ 1.3	▲ 7.3	-	-	-	-	83.3	868.5

●企業倒産は東京商工リサーチ青森・八戸両支店調（負債総額1千万円以上）

	住 宅 建 設				新車登録台数(台)		雇 用 状 況 (全数)			
	建築確認 (件)	着工戸数 (戸)	持ち家 (戸)	貸 家 (戸)	乗 用 車	軽自動車	新規求人 (人)	有効求人 (人)	有効求職 (人)	有効求人 倍率(倍)
2022年 4 月	71	87	49	20	196	237	1,939	4,873	4,068	1.20
5 月	62	171	41	12	177	170	1,652	4,834	4,280	1.13
6 月	70	78	55	22	182	231	2,105	5,015	4,524	1.11
7 月	59	47	42	1	228	238	1,784	4,944	4,468	1.11
8 月	49	63	36	16	194	211	1,854	5,195	4,381	1.19
9 月	70	45	31	8	278	253	2,115	5,252	4,018	1.31
10 月	58	52	34	12	264	254	1,950	5,416	3,704	1.46
11 月	64	91	50	35	270	305	1,736	5,159	3,552	1.45
12 月	33	66	32	22	222	240	1,746	4,884	3,780	1.29
2023年 1 月	32	14	13	0	248	258	1,907	4,967	4,154	1.20
2 月	31	20	18	0	265	311	1,874	5,107	4,268	1.20
3 月	58	30	11	10	547	422	1,926	5,207	4,211	1.24
4 月	56	74	35	32	245	219	1,469	4,710	4,263	1.10
5 月	57	41	31	1	202	230	1,728	4,569	4,301	1.06
6 月	78	85	37	43	265	220	1,642	4,473	4,432	1.01
前年同月比(%)	11.4	9.0	▲ 32.7	95.5	45.6	▲ 4.8	▲ 22.0	▲ 10.8	▲ 2.0	-
累計前年比(%)	▲ 5.3	▲ 24.8	▲ 15.5	▲ 10.4	21.5	25.0	▲ 0.0	4.5	▲ 0.7	-

主要経済指標

Key Economic Indicator

十和田市内主要経済指標

	世帯数	人口	婚姻届	手形交換高		金融機関預貸金		不渡手形 (件)	取引停止 (件)	企業倒産		住宅建設		
	世帯	人	合計	枚数 (千枚)	金額 (億円)	預金 (億円)	貸出金 (億円)			件数 (件)	負債額 (百万)	着工戸数 (戸)	持ち家 (戸)	貸家 (戸)
2022年 4月	28,008	59,211	39	1	10	3,297	1,271	0	0	1	60	23	13	4
5月	28,035	59,220	51	1	13	3,299	1,278	0	0	0	0	26	18	0
6月	28,049	59,193	36	1	10	3,346	1,282	0	0	0	0	20	15	1
7月	28,056	59,183	36	1	7	3,332	1,283	0	0	0	0	17	15	0
8月	28,082	59,173	45	1	10	3,304	1,282	0	0	1	10	18	16	0
9月	28,075	59,137	26	1	9	3,300	1,309	0	0	0	0	21	13	0
10月	28,076	59,111	35	1	9	3,297	1,300	0	0	0	0	60	19	34
11月	28,067	59,067	53	0	1	-	-	0	0	1	10	70	20	46
12月	28,054	59,024	36	2022年11月4日手形交換所廃止						0	0	37	11	19
2023年 1月	28,031	58,905	37							0	0	6	4	0
2月	28,017	58,834	30							0	0	7	5	0
3月	27,991	58,555	60							0	0	18	13	2
4月	28,101	58,564	36							0	0	19	10	1
5月	28,103	58,535	51							0	0	21	11	1
6月	28,119	58,532	54							0	0	26	9	16
前年同月比(%)	0.3	▲ 1.1	1.7	-	-	-	-	-	-	-	-	30.0	▲ 40.0	1500.0
累計前年比(%)	0.3	▲ 1.1	▲ 16.6	-	-	-	-	-	-	200.0	▲ 20.0	14.3	▲ 18.9	147.9

●不渡手形・取引停止は法人および事業者

●企業倒産は東京商工リサーチ青森・八戸両支店調（負債総額1千万円以上）

	新車登録台数(台)		雇用状況(全数)					肥育牛市場		子牛市場(黒毛和種)			
	乗用車	軽自動車	新規求人 (人)	有効求人 (人)	有効求職 (人)	就職者 (人)	有効求人 倍率(倍)	頭数 (頭)	平均価格 (千円)	雌		去勢	
										頭数	平均価格(千円)	頭数	平均価格(千円)
2022年 4月	120	77	427	1,354	1,145	130	1.17	95	407	230	643	373	745
5月	85	47	514	1,385	1,138	113	1.20	63	440	245	625	352	760
6月	80	110	562	1,384	1,081	116	1.28	58	477	243	575	331	680
7月	143	84	461	1,405	1,009	102	1.39	51	439	210	553	317	686
8月	85	58	527	1,470	985	117	1.49	65	439	185	562	293	683
9月	99	105	582	1,493	994	114	1.50	44	374	328	536	572	655
10月	77	78	578	1,563	991	111	1.58	23	456	-	-	-	-
11月	74	95	531	1,533	1,029	102	1.49	79	290	230	550	353	669
12月	77	83	517	1,521	1,049	75	1.45	74	235	201	547	344	651
2023年 1月	98	87	534	1,498	1,153	84	1.30	107	180	193	501	302	680
2月	138	84	597	1,595	1,228	104	1.30	58	305	238	516	333	656
3月	134	124	759	1,755	1,228	210	1.43	65	288	249	497	377	623
4月	153	70	441	1,598	1,145	123	1.40	91	338	256	490	326	663
5月	95	86	514	1,529	1,130	160	1.35	49	368	250	480	390	657
6月	88	100	557	1,438	1,086	117	1.32	95	328	232	486	396	597
前年同月比(%)	10.0	▲ 9.1	▲ 0.9	3.9	0.5	0.9	-	63.8	▲ 31.2	▲ 4.5	▲ 15.5	19.6	▲ 12.2
累計前年比(%)	9.9	8.7	13.6	14.6	2.8	5.5	-	▲ 25.8	▲ 8.6	2.9	▲ 25.5	6.3	▲ 20.2

●肥育牛市場は三本木畜産農業協同組合分

●青森県家畜市場(子牛)は生後6カ月齢以上12カ月齢未満の牛

●十和田市地方卸売市場は年次統計

主要経済指標

Key Economic Indicator

むつ市内主要経済指標

	世帯数	人口	手形交換高		不渡手形 (件)	取引停止 (件)	企業倒産		むつ市 公共事業予算 (億円)	新車登録台数(台)					
	世帯	人	枚 (千枚)	金額 (億円)			件数 (件)	負債額 (百万円)		乗用車	軽自動車				
2022年 4月	28,634	54,321	0	2	0	0	0	0	6.9	97	67				
5月	28,637	54,253	1	4	0	0	0	0		74	57				
6月	28,606	54,203	0	4	0	0	1	60		64	68				
7月	28,591	54,158	0	4	0	0	0	0	6.7	102	124				
8月	28,686	54,216	1	6	0	0	0	0		71	80				
9月	28,698	54,180	0	5	0	0	0	0		87	108				
10月	28,677	54,105	0	4	0	0	0	0	9.3	66	77				
11月	28,641	53,997	2022年11月4日手形交換所廃止				1	25		78	100				
12月	28,582	53,884					0	0		50	73				
2023年 1月	28,553	53,804					0	0	82	71					
2月	28,519	53,720					0	0	103	91					
3月	28,401	53,325					0	0	119	115					
4月	28,439	53,273					0	0	94	89					
5月	28,407	53,175					0	0	89	49					
6月	28,359	53,099					0	0	110	75					
前年同月比(%)	▲ 0.9	▲ 2.0					-	-	-	-	-	-	-	71.9	10.3
累計前年比(%)	▲ 0.6	▲ 1.9					-	-	-	-	↑	↑	-	▲ 2.6	26.3

●企業倒産は東京商工リサーチ青森・八戸両支店調（負債総額1千万円以上）

	建築確認申請件数		住宅建設			雇用状況（全数）				水揚状況			
	住宅 (件)	住宅以外 (件)	着工戸数 (戸)	持ち家 (戸)	貸家 (戸)	新規求人 (人)	有効求人 (人)	有効求職 (人)	有効求人 倍率(倍)	イカ		ホタテ	
										数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)
2022年 4月	13	0	89	17	68	405	1,281	1,485	0.86	3	3	434	62
5月	14	7	33	11	21	551	1,330	1,514	0.88	22	23	1,996	434
6月	14	3	14	13	0	518	1,320	1,372	0.96	7	5	1,599	481
7月	10	1	14	13	0	400	1,284	1,283	1.00	11	7	461	131
8月	11	2	12	9	2	399	1,218	1,266	0.96	12	10	65	17
9月	8	2	14	12	0	539	1,276	1,263	1.01	3	3	31	6
10月	8	3	11	4	6	387	1,242	1,266	0.98	12	14	26	5
11月	10	3	10	7	2	420	1,132	1,289	0.88	25	29	17	4
12月	7	0	12	9	0	341	1,021	1,474	0.69	9	13	32	16
2023年 1月	3	1	2	1	0	448	1,127	1,573	0.72	7	11	21	6
2月	7	3	2	2	0	382	1,100	1,510	0.73	4	7	587	143
3月	7	2	7	5	0	420	1,123	1,378	0.81	4	6	740	200
4月	9	3	14	13	0	401	1,075	1,287	0.84	14	21	550	100
5月	8	6	16	7	8	325	1,020	1,189	0.86	19	25	432	172
6月	14	2	12	7	5	356	1,005	1,124	0.89	4	5	1,591	425
前年同月比(%)	0.0	▲ 33.3	▲ 14.3	▲ 46.2	↑	▲ 31.3	▲ 23.9	▲ 18.1	-	▲ 42.9	0.0	▲ 0.5	▲ 11.6
累計前年比(%)	▲ 23.9	▲ 15.2	▲ 49.0	▲ 25.2	▲ 76.8	▲ 9.8	▲ 6.6	1.4	-	5.1	28.0	▲ 37.4	▲ 27.9

●水揚状況：数量・金額は年次統計



「地域と学校、親子で取り組む生活習慣病予防」

(地域保健研究室)

教授 古川 照美

生活習慣病はその名の通り、食事や運動、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が深く関与し、それらが発症の要因となる疾患の総称ですが、壮年期以降の生活習慣病を予防するためには、子どもの頃からの予防策が重要です。本研究室では、青森県内の地域を主なフィールドとして、生活習慣病予防をテーマに子どもの頃からのよい生活習慣の確立と行政施策につながる支援方法について探るなど、地域の健康課題解決につながるような研究をすすめています。これまでの研究を始めとして、肝機能の異常や血圧、血糖値が高いなどの問題を持つ子どもたちがいることが明らかになっています。それらには食事内容や運動、ゲーム時間などの生活習慣が関連していることもわかってきています。本大学院では、保健部門の専門家はもちろん、DXや行動経済学といった様々な方面の先生方の知識も得つつ、様々な知見を実際の生活習慣病予防の活動に活かしていけるよう社会実装に向けた研究が可能です。地域の健康課題解決のために、学んでみたい、一緒に研究してみたい方は是非ご連絡ください。



— 問い合わせ先 : t_kogawa@auhw.ac.jp —

「地域のリハビリテーションに重点をあてる」

(リハビリテーションマネジメント研究室)

教授 川口 徹

障害予防や介護予防にはリハビリテーションの考え方が非常に重要です。病気にならないための取組を予防医学といいます。それには三段階あります。まず、一次予防としては、健康な人が病気にならないための啓発事業、健康教室があります。二次予防としては、疾患を持っている可能性がある人に対する健康調査、健康チェック、健康指導などがあり、フレイル予防などが当てはまります。そして、三次予防として、病院・施設・地域におけるリハビリテーション医療における治療があり、障害がこれ以上悪くならないようにしたり、機能の回復を目指したりします。

本研究室では、現在、教員が3名、大学院生は博士前期課程に3名、博士後期課程に4名が所属し、これらの障害予防・介護予防などに資するリハビリテーションマネジメントの研究を行っています。

具体的な研究内容としては、ヘルスプロモーション、ヘルスリテラシー、へき地医療、ウィメンズヘルス、高齢者への筋力強化、高齢障害者の外出支援などをリハビリテーションの視点から調査研究を進めています。これらの研究成果を地域貢献に役立てるように、日々精進しています。



— 問い合わせ先 : kawa@auhw.ac.jp —

地元の 名産・商品 製品・技術

紹介コーナー

類家支店からの紹介

味噌ラーメン

八戸の金華楼といえば味噌ラーメン！
八戸市青葉、湊に2店舗を構え、創業56年を超える老舗中華料理店です。
味噌ラーメンだけでなく餃子、チャーハン、定食も大人気！リーズナブルな価格でおいしい中華料理が思う存分楽しめます！
ぜひご家族皆様でお越しください！

金華楼本店
〒031-0804 八戸市青葉1丁目17-27
TEL 0178-43-5554



【価格】720円(税込)
【定休日】月曜日
【営業時間】
11:00～15:00 17:00～20:00

沼館支店からの紹介

一度食べたらあなたも虜『二郎系ラーメン』

自家製麺！青森県産にんにく！そしてチャーシューは「八幡平ポーク」!!店主が素材と向き合い究極まで『ウマイ』にこだわり抜いた渾身の一杯です。
ゲリラ的に「つけ麺」、「煮干しラーメン」等様々な限定ラーメンも提供しているので是非インスタのフォローを!!一度食したあなたは……もう『豚まる』から離れられない。心もお腹も満たされる。そんな一杯を心行くまで堪能ください。

ラーメン 豚まる
〒031-0071 八戸市沼館2丁目31-5



【ラーメン豚まるSNS公式アカウント】
既定メニューや臨時休業など最新情報をご案内しています。



【価格】
980円(税込)
【定休日】
月曜日、第1・3火曜日
【営業時間】
昼の部 11:00～14:00
夜の部 18:00～20:30
日曜日 10:30～15:00

穂並支店からの紹介

ランチ&ワッフル

十和田市内にある、ハワイアンな空間で食事が楽しめるアッツ。お店オリジナルのナッツ入りワッフルのお味は5種類。ランチは白米と雑穀米から選べ、ロコモコ、タコライスやチキン南蛮もおすすです。お弁当やオードブルも承っておりますので是非Instagramをチェックしてみてください。

Cafe&Bar ATZ (カフェ&バー アッツ)
〒034-0083 十和田市西三番町20-33
TEL 0176-58-6555 FAX 0176-27-6576
URL <https://aratomo.net/cafe-and-bar-atz>



Instagram QR



【価格】ランチ 1000円～(税込)
デザート 300円～(税込)
【定休日】なし
【営業時間】11:00～15:00

古川支店からの紹介

「ふわふわちーず」 「ふわふわちょこれーと」

一口サイズで、口当たりが優しく、
ふわふわの食感が楽しめるスフレです。
組み合わせは自由で箱詰めもしていますので、
お気軽にどうぞ♪

有限会社 グートロンふじや
〒030-0862 青森市古川2丁目11-9
TEL 017-776-5934 FAX 017-722-1246



【価格】「ちーず」 162円(税込)
「ちょこれーと」 172円(税込)
【定休日】不定休
【営業時間】9:00～19:00

大野支店からの紹介

メジャーノ・トマト (高糖度トマト)

メディアで話題の「ベビーベビー®」の栽培指導も行っている「トマリスト 渋谷耕平」が手掛けた、青森の新しいブランドトマトである「メジャーノ・トマト」。一口食べれば味の濃さと甘さに驚くこと間違いナシ！青森県では珍しい通年栽培であり、糖度は11%以上、最高糖度は16%以上になることも！こだわりトマトを、是非ご賞味ください。

有限会社 渋谷種苗店
〒030-0852 青森市大字大野字玉島30-8
TEL 017-729-4545 FAX 017-729-4548
URL <https://www.shibu-tane.com/> E-mail s-seed@hyper.ocn.ne.jp



【定休日】日曜日(4月～9月無休)
【営業時間】8:30～19:00
(10月～3月 8:30～17:00)

弘前駅前支店からの紹介

パフェ

Z世代の君はもちろん、かつてナウでヤングだった君も。
「弘前でパフェが食べたい」そう思ったら BLUE EIGHT だよね。ハッシュタグで投稿してもいいし、インスタントカメラで片目瞑って撮っちゃってもいい。パフェを食べて幸せになるあの感覚は、世代の垣根も超えちゃうよね！

BLUE EIGHT
〒036-8182 弘前市土手町132-2 2F
TEL 0172-55-5544 FAX 0172-55-5544
URL <https://blue-eight-hirosaki.com/>



Instagram QR

【定休日】
毎週月曜日
【営業時間】
11:00～19:00

下北営業部からの紹介

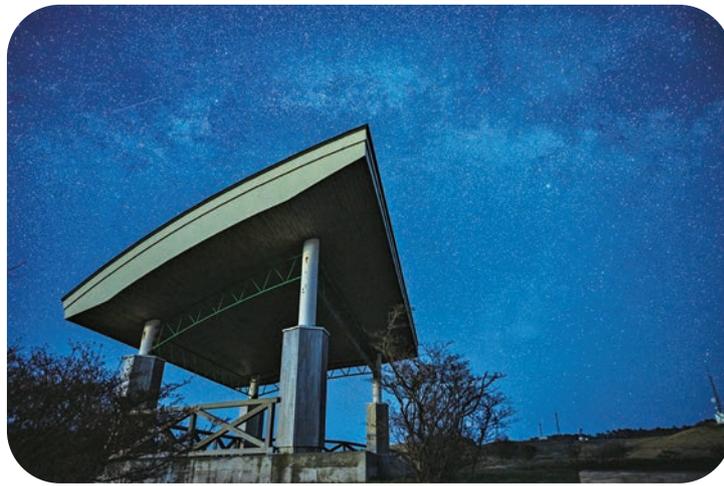
クレープ

むつ市で唯一のクレープ屋さん。
子供からお年寄りまで大人気のお店です。
生クリームたっぷりのバナナチョコは人気 NO.1メニュー!!
他にもサラダ系クレープやピザクレープ等種類も豊富。
ご家族、お友達と遊びに来た際はぜひ一度ご賞味ください。

TAKA くれ〜ぶ屋
〒035-0051 むつ市新町8-22
TEL 0175-22-9240



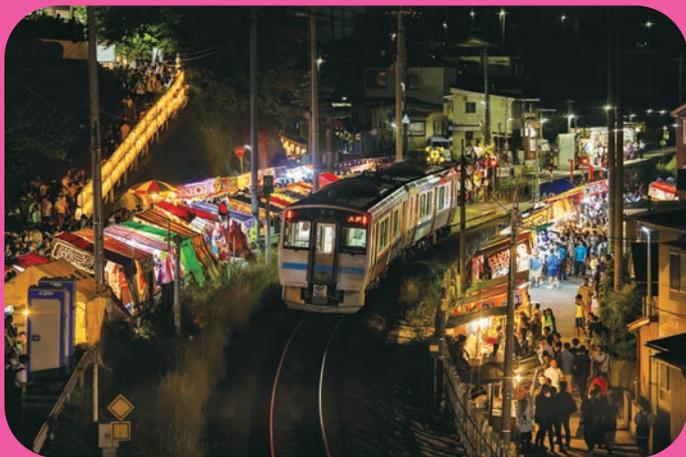
【価格】280円～(税込)
【定休日】火曜日
【営業時間】11:00～18:00



階上町 階上岳



十和田市 湖水祭り



八戸市 三嶋神社まつり



黒石市 こみせ通り

青い森しんきん「とれんど情報 No.486」

発行日／2023年8月20日

編集・発行者／青い森信用金庫 地域支援室

住所／〒031-0086 八戸市大字八日町18

TEL 0178-38-8863 FAX 0178-38-8861

<http://www.aomorishinkin.co.jp/>

製作・印刷／赤間印刷工業(株)

表裏写真提供／小野 昭仁 氏